



赤麻小だより

第35号

平成27年11月 2日
発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

11月は霜が降る月、霜月です。11月8日(日)に立冬を迎えると、早くも冬。山にも里にも冬の気配が感じられてきます。木々の葉が落ち冷たい風が吹き、冬枯れの様子も目立ってくるのでしょうか。過ぎ去る秋を恋しく思いながら、やがて聞こえてくる冬の足音に耳をすまし、近づいてくる寒さに心の準備をしていきたいと思ひます。最近の朝晩の冷え込みは、強風の吹く厳しい冬への扉が開きつつあるとよな気がしております。

さて、2学期も折り返しとなりました。学校では、持久走大会に向けての練習が始まります。体育の時間に限らず、休み時間になると、校庭を一生懸命に走る元気な子どもたちでいっぱいになります。落ち葉の舞う中、今年の各自の目標タイムを目指し、自分ペースを作りながら練習に励む姿は、どの子どももたくましい「あかまっ子」です。また、6年生が卒業記念文集の作成を始め、いよいよ小学校のゴールへ向かって動き出しました。11月も様々な行事や活動を計画しております。地域の皆様にも参加していただけるようご案内する行事もありますので、お時間のつくものがありましたら、ぜひ学校までお越しいただき、子どもたちの様子をご覧いただければと思ひます。

平成27年度も後半になります。赤麻小の子どもたちが、より大きく成長できるよう、全教職員で指導支援してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



子どもたちの活動から

【読書の秋、満喫！】今年の校内読書週間もお楽しみがいっぱい！

本校の『読書週間』は、10月19日から23日でした。親子読書、読書集会、お話人形劇の上演などを実施いたしました。



藤岡地区お話し会コロボックルの皆さんによる人形劇とパネルシアター

作文や標語、ポスターの表彰と

図書委員会主催の読書集会



子どもたちは、身を乗り出して、一生懸命鑑賞していました。パネルシアターでは「あかまるくん」も登場し、会場が盛り上がりました。

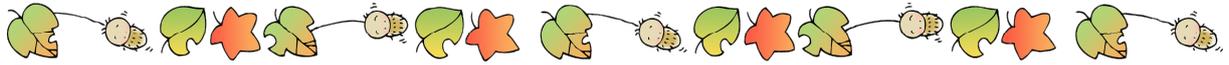
コロボックルの皆様、ありがとうございました。

【楽しかったとちのきファミリーランド！】1年生と2年生で校外学習出発！！



10月29日(木)に、1年生と2年生の校外学習を実施いたしました。とちのきファミリーランドでは、2年生がグループをリードし、1年生と一緒に活動をいたしました。たくさんの乗り物に乗って、楽しく過ごすことができましたようです。2年生も上級生として活躍いたしました。





【サツマイモ掘りやミシンの学習、お世話になりました。】



(上)1年生と2年生がサツマイモ掘りを行いました。ボランティアの皆さんにお世話になり、大きなサツマイモを収穫することができました。(下)6年生では、ミシンボランティアの皆さんにお世話になり、枕カバーやトートバッグを作成いたしました。完成した作品と一緒に記念写真もカシャッ!!

11月の予定

- 2日(月) 就学時健康診断
藤岡地区理科研究発表会
(藤岡公民館)理科展～3日
4年昔の暮らし体験
- 3日(火) 文化の日
- 4日(水) 集金日
- 5日(木) 交通安全感謝会
- 6日(金) わたらせ風の子音楽祭
- 9日(月) 3年クラブ見学
教育相談週間
- 11日(水) 合同宿泊学習～12日
3年栃木市めぐり
- 13日(金) アルミ缶回収強化日
放課後教室
PTA合同部会
- 14日(土) 栃木市教育祭～16日
- 17日(火) 学力向上推進研究公開授業
(全学年4時間授業)
- 18日(水) 5年宿泊学習～20日
(海浜自然教室)
- 19日(木) 6年社会科学習「戦争と人々の暮らしについて」(講話)
- 20日(金) 放課後教室
- 23日(月) 勤労感謝の日
- 24日(火) あいさつ運動
1年校外学習
(渡良瀬運動公園)
- 25日(水) 持久走大会・5年親子活動
第2回学校評議員
- 27日(金) 放課後教室
- 28日(土) 小さな親切運動表彰式

季節の歳時記 七五三

数えで男子は3歳と5歳、女子は3歳と7歳に、健やかな成長を祈願し、11月15日に神社へ参拝する行事です。現在のように医療が整っていなかった昔は、子どもがすくすくと育っていくことが、今以上にありがたいことだったのです。女子が7歳で締める帯には、魂をしっかりと留めるという意味もあったそうです。

七五三に欠かせないのが千歳飴。江戸時代に浅草の飴売りが、子どものお宮参りのお土産として考案したそうです。長寿に通じるよう、長く伸ばした飴を作り、千年飴、寿命飴として売り出したものが「千歳飴」として定着したとのこと。千歳飴の袋には、長寿にまつわる、鶴亀、松竹梅、翁と媪(おきなとおうな)など、縁起のよい絵柄が描かれています。年の数だけ飴を袋に入れるとよいそうです。七五三の季節になると売り出される千歳飴は、どこか懐かしく感じられます。これから、一緒に味わってみては如何でしょうか。

日本には、季節の節目だけでなく、生まれてから大人になるまでの人生の節目で、お祝いや厄払いをする習慣があります。通過儀礼といいますが、七五三以降は、入園・入学・卒業、十三詣り、そして20歳になり社会的に大人になったことを祝う成人式です。通過儀礼は1度だけ。子どもが大人になったとき、こうした行事を親子で振り返るのもよいのではないのでしょうか。

